



# 小型電気温水器 (元止め式)

## 品番

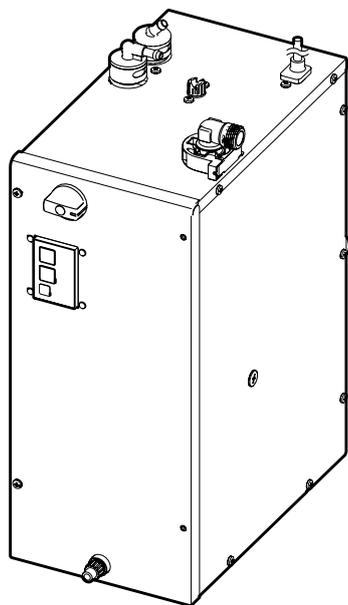
EHMN-CA6ECSC1-300C / EHMN-CA6ECSC1-300  
EHMN-CA6ECSC2-301  
EHMN-CA6ECSC3-303  
EHMN-CA6ECSD2-311C / EHMN-CA6ECSD2-311  
EHMN-CA6ECSD3-313C / EHMN-CA6ECSD3-313

EHMN-CA6ECSC1-320C/EHMN-CA6ECSC1-320  
EHMN-CA6ECSC2-321  
EHMN-CA6ECSD3-323  
EHMN-CA6ECSC1-320HC

## 取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。  
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。  
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。  
※保証書は紛失しないよう大切に保管してください。紛失した場合修理が有料となる場合があります。  
※転居される場合、次に入居される方に、この説明書と保証書をお渡しください。



## もくじ

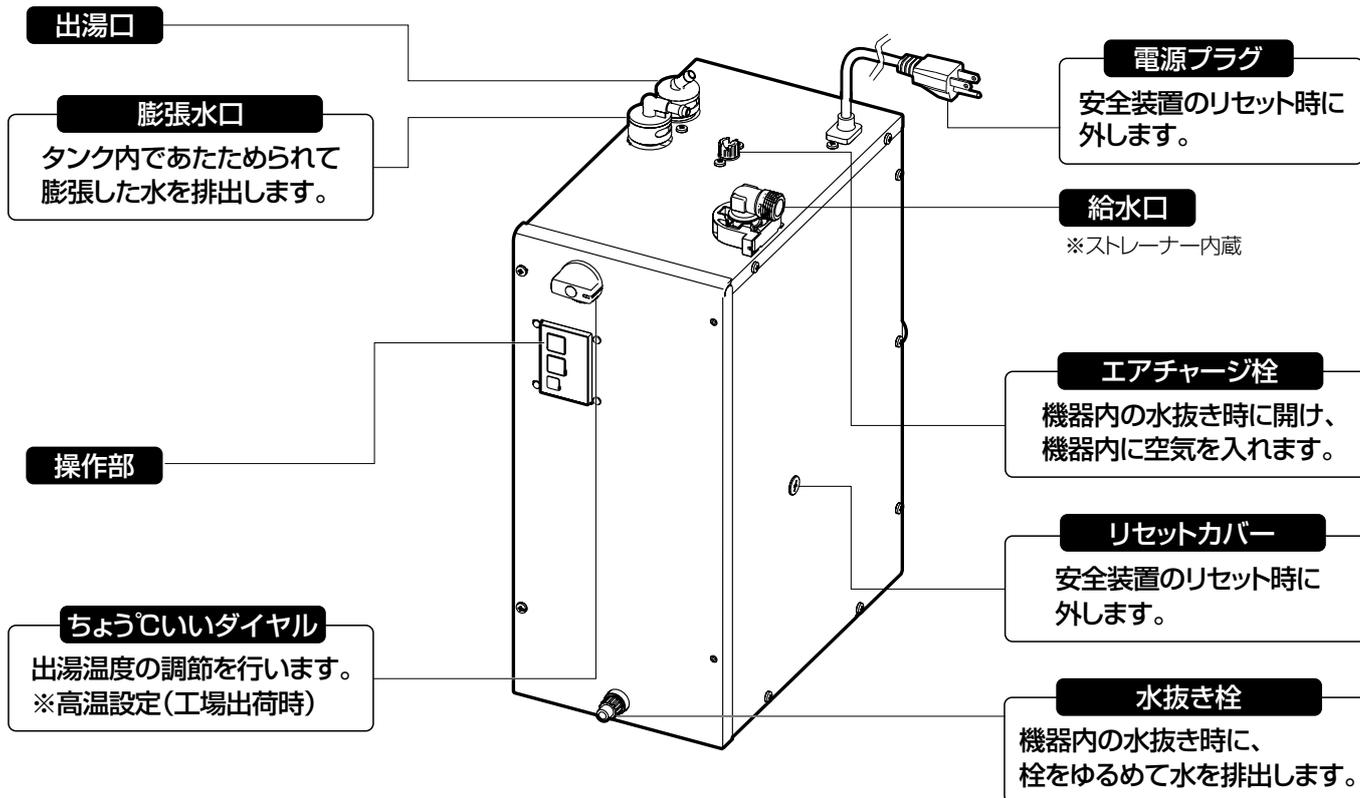
各部のなまえ	1
安全上のご注意	4
ご使用前の注意事項	7
ご使用方法	10
日常の点検	16
凍結による破損について	19
長期間使用しない場合	19
故障かなと思ったら	20
アフターサービスについて	23
仕様	24
保証書	裏表紙
問い合わせ先	裏表紙

### 工事店様へのお願い

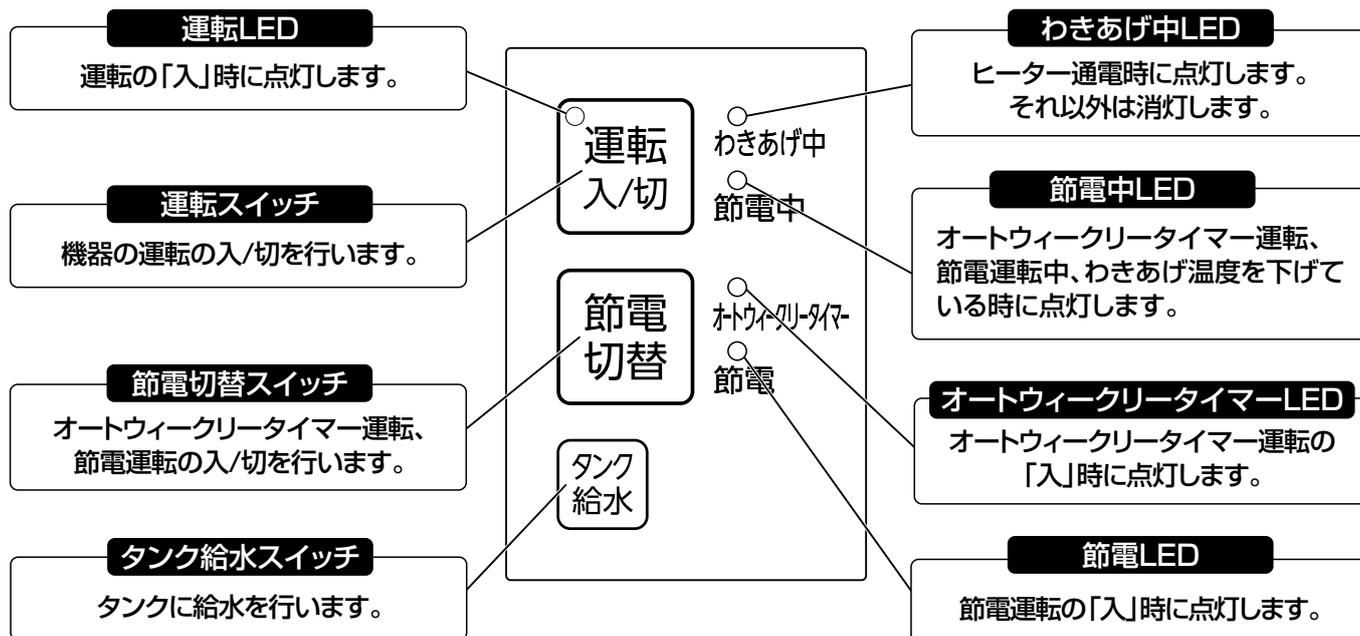
貴店名ならびに引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。  
また、定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

# 各部のなまえ

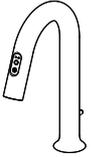
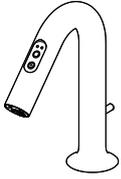
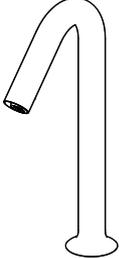
## 機器本体

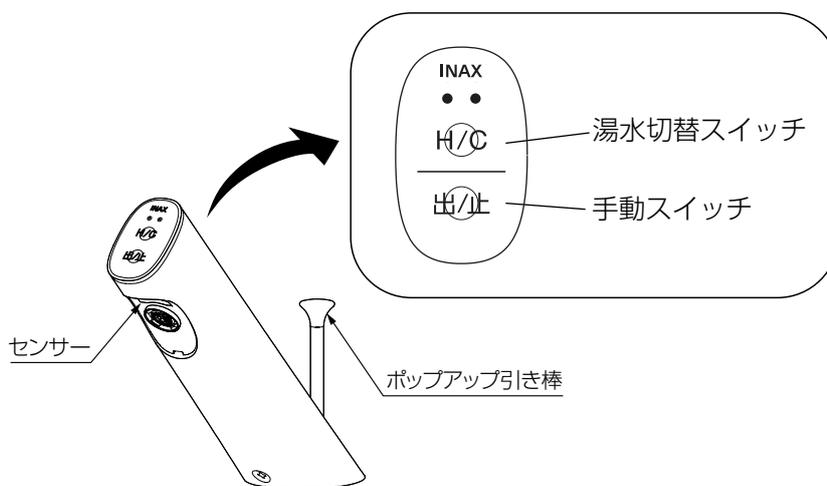


## 操作部

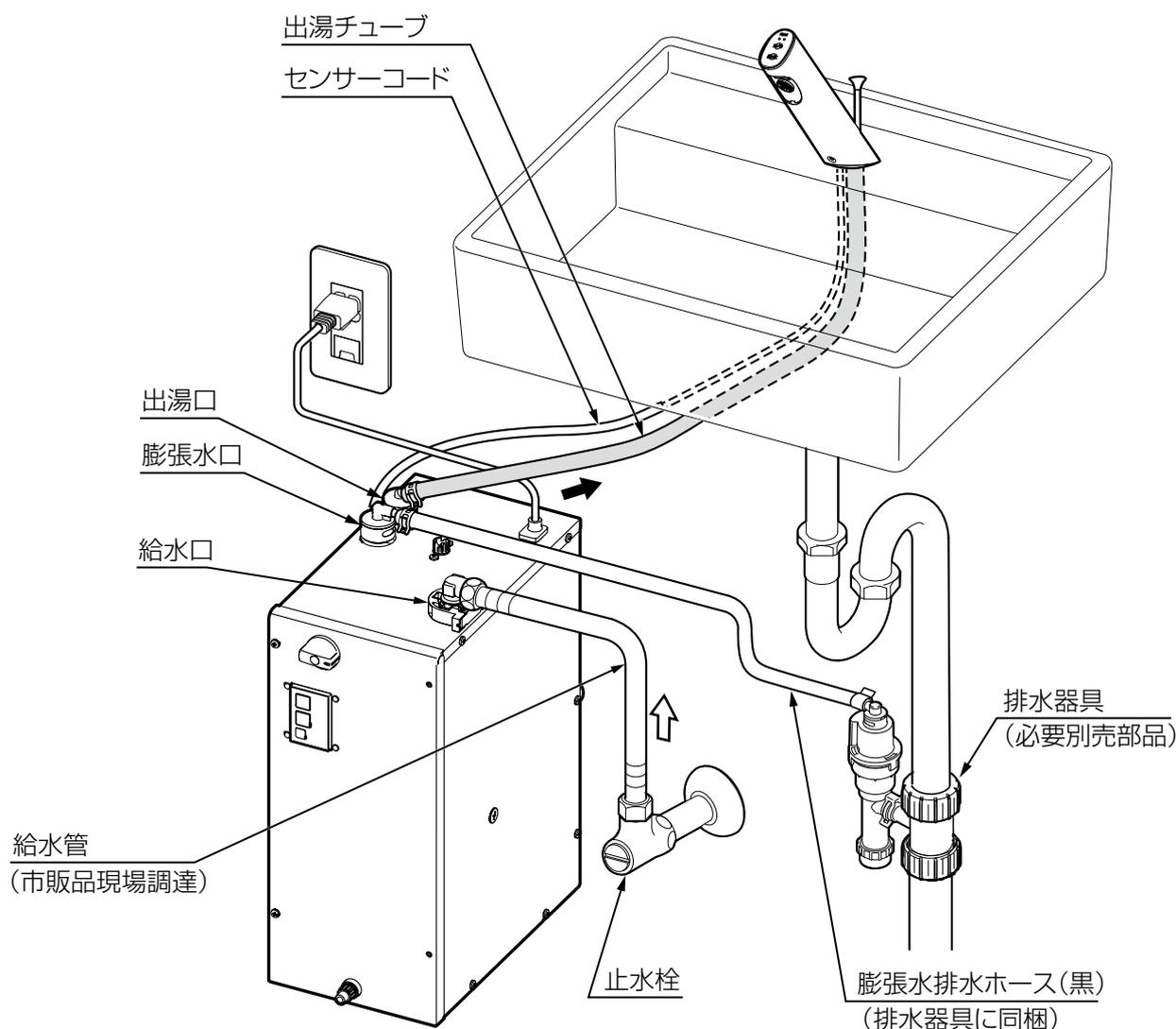


# 専用自動水栓

タイプ	品番	スイッチ	ポップアップ
	EHMN-CA6ECSC1-300C型	なし	なし
	EHMN-CA6ECSC1-300型		あり
	EHMN-CA6ECSC2-301型	手動	あり
	EHMN-CA6ECSC3-303型	手動・湯水切替	あり
	EHMN-CA6ECSD2-311C型	手動	なし
	EHMN-CA6ECSD2-311型		あり
	EHMN-CA6ECSD3-313C型	手動・湯水切替	なし
	EHMN-CA6ECSD3-313型		あり
	EHMN-CA6ECSC1-320C型	なし	なし
	EHMN-CA6ECSC1-320型		あり
	EHMN-CA6ECSC2-321型	手動	あり
	EHMN-CA6ECSC3-323型	手動・湯水切替	あり
	EHMN-CA6ECSC1-320HC型	なし	なし



## 配管図例



## オートウィークリータイマー・節電運転について

### オートウィークリータイマー・節電共通

#### 1 使用頻度が低い時間帯はわかあげ温度を下げて節電

使用が少ない時間帯を学習して、使用頻度が低い時間帯はわかあげ温度を下げて節電します。

### オートウィークリータイマーのみ

#### 2 お湯を使わない夜間・休日はヒーターOFFして節電

お湯を使用しない時間帯(夜間・休日など)を学習して自動的にヒーターをOFFして節電します。

### オートウィークリータイマーのみ

#### 3 夏場オフ：お湯を使わない季節はヒーターOFFして節電

水温を学習することにより、お湯を使用しない夏場などに自動的にヒーターOFFして節電します。  
※給水温度が約20℃を超えると作動します。

# 安全上のご注意(必ずお守りください)

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。  
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 用語の説明

-  **警告** 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合。
-  **注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合。

## 記号の説明

-  「注意しなさい!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
-  「してはいけません」(一般的な禁止記号です)
-  「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です)
-  「分解してはいけません!」
-  「必ずアースを接続しなさい」
-  「電源プラグを抜きなさい」

## 警告

	<b>ぬれ手に注意</b> 電源プラグはぬれた手で絶対に触らないでください。 ※感電の恐れがあります。
	<b>水かかり厳禁</b> ○屋外に設置しないでください。 ○屋内でも水がかかったり、表面に結露が生じたりするような湿気の多くなる場所 特に浴室やシャワールームには設置しないでください。 ○機器に水をかけたり、機器上部に濡れたものや洗剤等を置いたりしないでください。 ※機器内部に液体が入りこんで、機器の故障、火災や感電の原因になります。
	<b>分解禁止</b> 修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理は行わないでください。 ※火災や感電の原因になります。
	<b>機器の改造禁止</b> ○内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。 ○内部配線や電源コードを補修する必要がある場合は、現場で加工せずに専用補修部品と交換してください。 ※火災や感電の原因となります。

 **警告**

	<p><b>アースの接続</b>          ○設置場所の分電盤等に漏電遮断器が設置されていることを確認してください。          ○アースが必ず接続されていることを確認してください。          ※アース工事がされていない場合や不完全な場合は、感電する恐れがあります。</p>
 <p>指示実行</p>	<p><b>機器のコンセント</b>          機器用に設置するコンセントは「接地極付コンセント」をご使用ください。対応するコンセント形状は使用する電源、ヒーター能力を本体の定格銘板で確認し、必ず適したコンセントをご使用ください。また電源プラグの変更は絶対に行わないでください。          ※火災や漏電等の重大故障の原因となることがあります。</p>
 <p>指示実行</p>	<p><b>ブレーカー作動時の使用中止</b>          本機器とつながった分電盤のブレーカーが作動した場合、使用を中止し、すみやかに修理を依頼してください。          ※本機器に異常がある恐れがあります。作動したブレーカーを入れ直してご使用を続けた場合、火災や漏電等の重大故障の原因となることがあります。</p>
 <p>指示実行</p>	<p><b>機器使用の条件</b>          使用する電源、ヒーター能力を本体の定格銘板で確認し、必ず適した配線をしてください。          ※適していない電圧や配線に接続すると火災の危険性があります。</p>
	<p><b>機器使用の条件</b>          雷の音が聞こえる場合には使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください。          ※感電の原因になります。</p>
 <p>指示実行</p>	<p><b>電源プラグは確実に差し込む</b>          電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。          ※火災の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p><b>電源コードを傷めない</b>          電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。          また電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。          ※電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。</p>
 <p>指示実行</p>	<p><b>電源プラグのお手入れを</b>          半年に1回程度は電源プラグを抜き、ほこりを除去してください。          ※火災の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p><b>機器使用の条件</b>          この機器は水道水以外の水(水道事業者が供給する上水以外)での使用はできません。          ※早期に機器が破損し、感電・漏水の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p><b>植込み型医療機器をお使いの方は、本製品の磁石を植込み型医療機器へ近づけないでください。</b>          植込み型医療機器の取扱説明書または担当医師に確認してください。          ※医療機器の正常な動作を損なう恐れがあります。</p>

## ⚠ 注意

 禁止	<b>機器使用の条件</b> ○この機器は車両、船舶での使用はできません。 ○この機器は太陽熱温水器や、他の給湯機器との接続はできません。 ※機器の故障だけでなく、漏電、漏水などの恐れがあります。 ○この機器は日本向けです。国外での使用はできません。
 指示実行	<b>機器使用の条件</b> この機器は給水圧力0.1MPa(流動時)～0.75MPa(静止時)までの範囲でご使用ください。 ※水圧が高い地域に設置した場合、止水時にタンク内の圧力が高くなり、膨張水口から水が噴き出し続ける恐れがあります。
 指示実行	<b>膨張水排水ホース(黒)の接続</b> 膨張水口からの膨張水排水ホース(黒)の接続が確実にされているか必ず確認してください。 ※漏水の恐れがあります。
 禁止	<b>飲用禁止</b> 飲料用としては使用しないでください。 (湯水切替スイッチ付の場合のみ)うがいや歯みがきをする場合は、水側でご使用ください。
 禁止	<b>空だき禁止</b> 機器内のタンクが満水になっていない場合は、運転スイッチを「入」にしないでください。 ※機器の破損やヤケドの恐れがあります。
 禁止	<b>凍結禁止</b> 凍結する可能性のある場所では使用しないでください。 ※機器が凍結破損し、漏水する恐れがあります。
 指示実行	<b>機器使用上の注意</b> 排水器具の下流側の排水管が詰まらないようにしてください。 ※排水不良となり、漏水の恐れがあります。

## ご承知おきいただきたいこと

本機器は、貯湯式です。  
 タンク内のお湯を使い切ると、次の湯がわきあがるまで以下の時間が必要です。

製品品番	わきあげ時間	標準出湯量※1
EHMN-CA6ECSC1~C3 EHMN-CA6ECSD1~D3	約33分 (15→70℃)	約13L

※1 水温15℃、出湯温度36℃、出湯量4L/分、わきあげ温度70℃の標準条件で一度に使用できる湯量

# ご使用前の注意事項

## 確認1. 接地極付コンセントが取り付けられていますか？

品番	定格電圧	定格消費電力	対応コンセント形状
EHMN-CA6ECSC1~C3 EHMN-CA6ECSD1~D3	AC100V	700W	

### 警告

- 接地極のないコンセントが設置されている場合は、コンセントを付け替えてください。
  - 分電盤に漏電遮断器が設置されていることを確認してください。
- ※故障や、感電・火災の原因になります。



## 確認2. 電源プラグはコンセントから抜いていますか？

- 電源プラグがコンセントに接続されていれば抜く。

### 注意

機器内のタンクが満水になっていない場合は、  
電源プラグを差し込まないでください。  
※機器の破損やヤケドの恐れがあります。



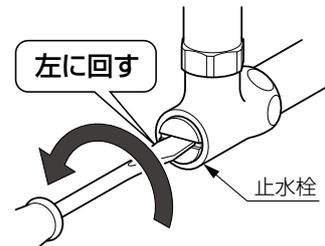
# タンクへの給水手順

## ⚠ 注意

機器内のタンクが満水になっていない場合は、運転スイッチを「入」にしないでください。  
※機器の破損やヤケドの恐れがあります。



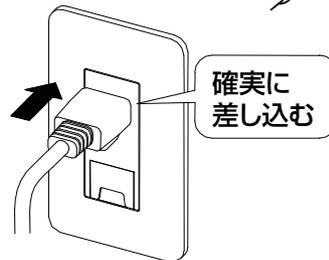
- ①給水管・出湯チューブが接続されているか確認する。
- ②止水栓を開ける。



- ③電源プラグをコンセントへ差し込む。

## ⚠ 注意

電源プラグはコンセントに根元まで  
確実に差し込んでください。  
※火災の原因になります。



電源プラグを接続するとただちに感知距離を自動設定します。(約10秒間)

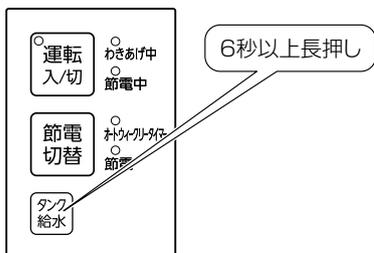
※陶器内に物が置かれていたり、センサーに手をかざすと感知距離が最適に設定されません。  
※感知距離を再設定した場合は、電源プラグを一度ぬき再度接続してください。

- ④運転LED が消灯していることを確認する。  
点灯している場合は、運転スイッチを「切」にします。

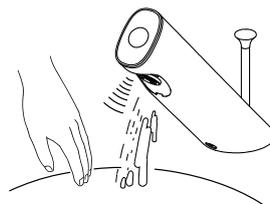
消灯確認

運転  
入/切

- ⑤タンク給水スイッチを6秒以上押す。  
タンク給水中は空気を巻き込みながら水が出ます。  
約10分で自動で止水します。

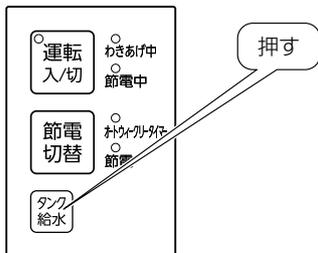


<満水になっていない状態>

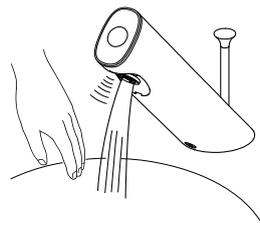


タンクが満水になるまで  
約3分かかります

- ⑥満水になったらタンク給水スイッチを再度押して水を止める。  
水の出方が安定したら満水の状態です。  
タンク給水スイッチで水を止めた後、吐水口に手をかざして水の出方が安定しているか確認してください。



<満水の状態>



吐水口に手をかざして  
水の出方が安定しているか  
確認する。

- ⑦配管各部に漏れがないか確認する。

## ⚠ 注意

必ず水漏れしていないことを確認してください。  
※漏水のおそれがあります。



## 流量の調整

低圧の現場で流量が不足する場合は、以下の手順で定流量弁を取り外して、止水栓で流量調整を行います。

### ●流量の目安

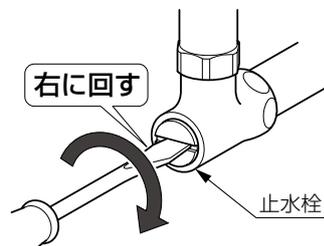
【EHMN-CA6SC1,2,3/ECSC1,2,3】

500mLの容器をいっぱいにするのに約10～15秒

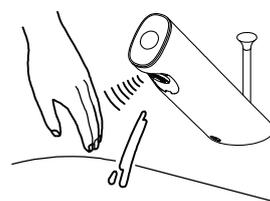
【EHMN-CA6SD1,2,3/ECSD1,2,3】

500mLの容器をいっぱいにするのに約6～9秒

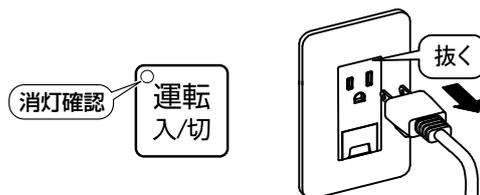
#### ①止水栓を閉める。



#### ②吐水口部に手を差し出し、センサーを感知させ水が出ないことを確認、圧抜きを行う。

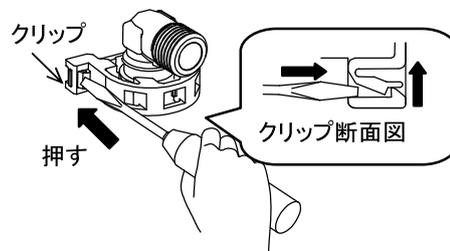


#### ③運転スイッチを「切」にして、電源プラグを抜く。



#### ④給水口を固定しているクリップを取り外す。

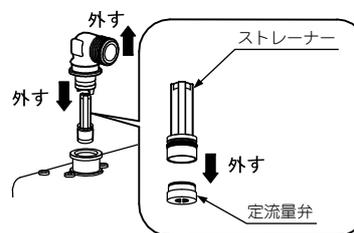
クリップを外す際には、マイナスドライバーを差込んだ後、右図の矢印の方向に押すようにして外します。



#### ⑤給水口を外して、中のストレーナーを取り外す。

#### ⑥ストレーナー内の定流量弁を取り外す。

#### ⑦取り外した時と逆の手順でストレーナー、給水口、クリップを取り付ける。



### 注意

必ずストレーナーを取り付けてください。

※機器内にゴミが入り、故障の原因となります。



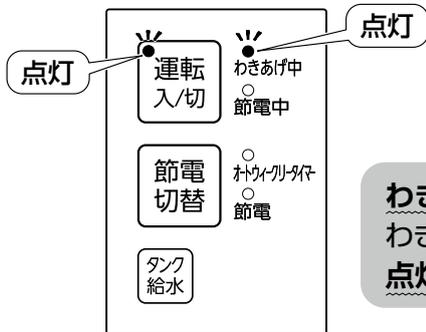
#### ⑧電源プラグを差し込む。

#### ⑨止水栓を回し、流量を調整する。

# ご使用方法

## お湯をわかす

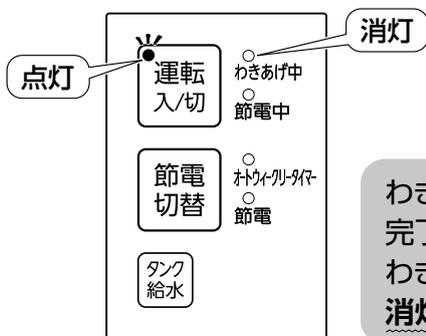
- **運転入切**を押す。  
運転LEDが点灯し、わかあげが始まります。



わかあげが完了するまで時間がかかります。  
(詳しくはP.6参照)

わかあげ中は  
わかあげ中LEDが  
点灯します。

- わかあげが完了すると、お湯が使える状態になる。



わかあげが  
完了すると  
わかあげ中LEDが  
消灯します。

- お湯を使用してタンク内の湯温が下がると、再びわかあげが始まる。  
再びわかあげ中LED が点灯します。わかあげが完了するとわかあげ中LED は消灯します。

## ■ 日常の使用

- 湯を使用する時期は運転スイッチを「入」のままにする。
- 1週間以上使用しない場合や、夏場で湯が不要な場合は運転スイッチを「切」にする。  
再度使用を始める前に、タンク容量の2倍程度通水し、タンク内の水を入れ替えてから運転スイッチを「入」にする。  
※スーパー節電設定時は、夏場などの高い水温を自動検知し、ヒーターを自動的にOFFにするため、運転スイッチを「切」にする必要はありません。

## 出湯温度の変更(適温出湯タイプのみ)

ちょう℃いいダイヤルを操作することで、出湯温度を調節することが可能です。  
※工場出荷時は高温側に設定されています。

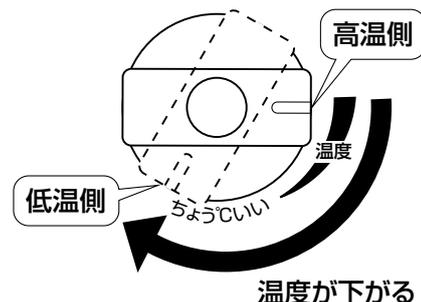
### 〈出湯温度調節範囲〉

給水温度の目安	温度調節可能範囲の目安
約5℃	約21℃(低温側)～約36℃(高温側)
約15℃	約24℃(低温側)～約39℃(高温側)
約25℃	約27℃(低温側)～約43℃(高温側)

※わかあげ温度：70℃(わかあげ直後)

※出湯量：4L/分

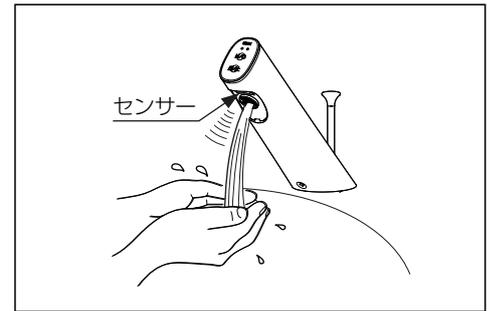
※出湯温度の調節範囲は、給水温度、わかあげ温度、流量により変動します。



## お湯(水)を出す・止める

### ■センサーで水を出す

吐水口の下に手を差し出すとセンサーが感知し水(湯)が出ます。手を引くと1～2秒後に止まります。1分間出し続けると自動的に水(湯)が止まります。再び水(湯)を出したいときは、一度手を引き、再び手を差し出してください。



センサーは、赤外線を透過してしまうガラス製品は感知できません。また、ステンレス製及びメッキを施したのも感知しないことがあります。手動スイッチをご使用いただくか、感知範囲に手をかざしてご使用ください。

センサーに付着した汚れによる誤感知を防ぐために、センサーに手が触れるような至近距離では感知しない仕様です。水が出ないときは、センサーから少し離れた位置に手を差し出してください。

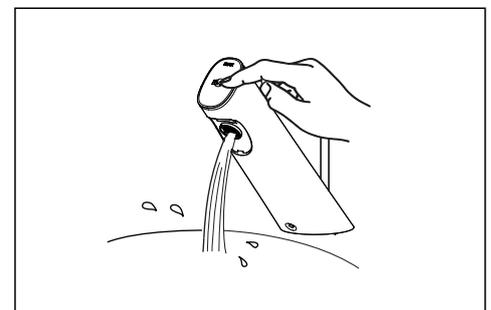
### ■感知距離自動調節

センサーが水栓陶器間の距離を感知し、感知距離を自動で調節します。陶器と水栓の間に物が置かれていると、調節が正常に行われません。感知距離が短いと感じた場合、18ページを参照して、再調節してください。

### ■スイッチで水を出す

#### 【手動スイッチ付の場合】

手動スイッチを押すと水(湯)が出ます。  
もう一度押すと止まります。  
1分間出し続けると自動的に水(湯)が止まります。



#### 【湯水切替スイッチ付の場合】

湯水切替スイッチを押すたびに「湯」と「水」が切り替わります。

水(湯)を出したあと、約1分間経過すると、あらかじめ設定してあるモードに自動的に戻ります。

(初期設定は「湯」になっています。)

【表示の色】 青：水が出ます。 赤：湯が出ます。



#### 【「湯」「水」設定モードと設定方法】

湯水切替スイッチを3秒以上長押しすると表示の色が変わり、モードが切り替わります。

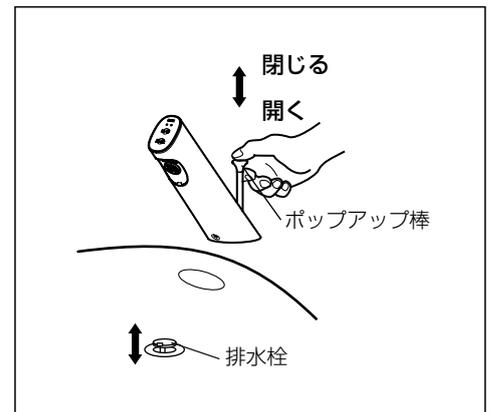
※設定後も、電源プラグを抜いたり停電などで電源が切れると、初期設定の「湯」に戻ります。

夏場は「水」冬場は「湯」など必要に応じて設定していただけます。

## ■排水栓を開閉する

【ポップアップ付の場合】

ポップアップ棒を上げると排水栓が閉じ、下げると開きます。



# オートウィークリータイマー機能

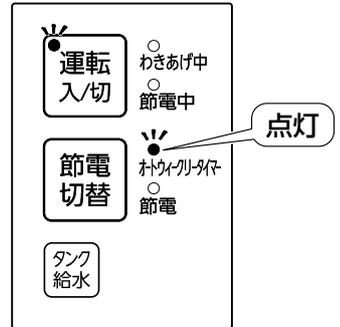
- ①使用頻度が低い時間帯を学習し、わかあげ温度を下げて節電します。
- ②お湯を使わない休日や夜間を学習し、ヒーターを自動的にOFFして節電します。
- ③夏場オフ：お湯が必要ない季節(夏場など)は、水温を自動検知し、ヒーターを自動的にOFFして節電します。

## ■オートウィークリータイマーを設定する

- **節電切替** を押し、運転状態を切り替える。

「オートウィークリータイマーLED」が点灯するとオートウィークリータイマー運転に切り替わります。

- ご使用開始時は、オートウィークリータイマー運転を設定してから3週間は使用頻度・給水温度を学習します。学習期間中のわかあげ温度は77℃になります。
- 上記期間内にオートウィークリータイマー運転を終了すると、学習内容は記憶されません。



- 学習が完了すると、学習内容に応じて運転する。

- ・わかあげ温度を下げている状態
  - ・ヒーターを自動的にOFFしている状態
- では「節電中LED」が点灯します。



- 使用状況が大幅に変化した場合(お店の営業時間・定休日に変更された等)オートウィークリータイマー運転していることにより、湯切れをする可能性があります。この場合は、学習内容をリセットしてください。(10ページ『学習内容のリセット』参照)

## ■オートウィークリータイマーを解除する

- **節電切替** を押し、運転状態を切り替える。

「オートウィークリータイマーLED」、「節電LED」が消灯すると通常運転に切り替わります。



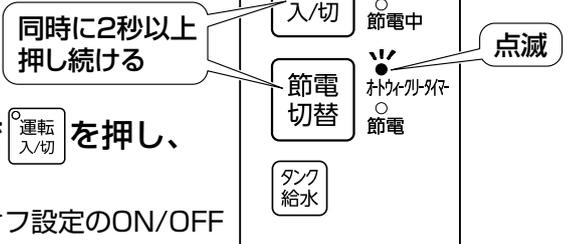
## ■夏場オフ設定を変更する

- **運転入切** と **節電切替** を同時に2秒以上押し続ける。

ブザー音が2回鳴り、オートウィークリータイマーLEDが下記の表のとおり点滅します。

- オートウィークリータイマーLEDが点滅する状態で **運転入切** を押し、夏場オフ設定のON/OFFを切り替える。

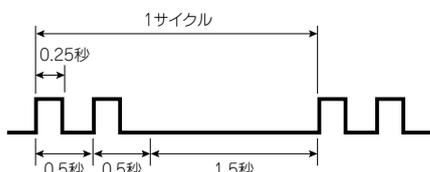
オートウィークリータイマーLEDの点滅回数に応じて、夏場オフ設定のON/OFFが分かります。



設定	LED点滅回数	備考
夏場オフ ON	1回	給水温度が高い場合、ヒーターを自動的にOFFします。
夏場オフ OFF	2回	給水温度が高い場合でもヒーターをOFFしません。

- 15秒間操作しないと設定を決定する。

- ※工場出荷時は夏場オフ設定は「ON」になっています。(参考) 2回点滅は下記のようなサイクルで点滅します。



## 節電機能

使用頻度が低い時間帯を学習し、わきあげ温度を下げて節電します。

### ■節電を設定する

- **節電切替** を押し、**運転状態**を切り替える。  
「節電LED」が点灯すると節電運転に切り替わります。

- ご使用開始時は、節電運転を設定してから3週間は使用頻度・給水温度を学習します。学習期間中はわきあげ温度は77℃になります。
- 上記期間内に節電運転を終了すると、学習内容は記憶されません。

- 学習が完了すると、学習内容に応じて運転する。

- ・わきあげ温度を下げている状態
  - ・ヒーターを自動的にOFFしている状態
- では「節電中LED」が点灯します。



- 使用状況が大幅に変化した場合(お店の営業時間・定休日が変更された等)節電運転していることにより、湯切れをする可能性があります。この場合は、学習内容をリセットしてください。(10ページ『学習内容のリセット』参照)

### ■節電を解除する

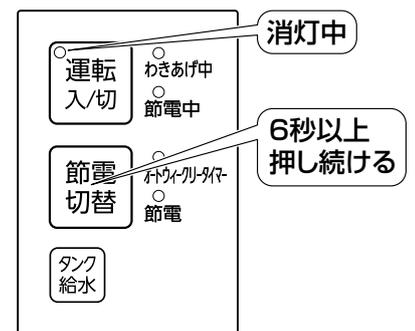
- **節電切替** を押し、**運転状態**を切り替える。  
「オートウィークリータイマーLED」、「節電LED」が消灯すると通常運転に切り替わります。



## 学習内容のリセット

節電機能及びオートウィークリータイマー機能の学習内容(お湯の使用頻度と水温)をリセットします。  
※リセット後、再度学習する3週間は設定温度で運転を行います。  
3週間後から、節電、オートウィークリータイマーそれぞれの運転に入ります。

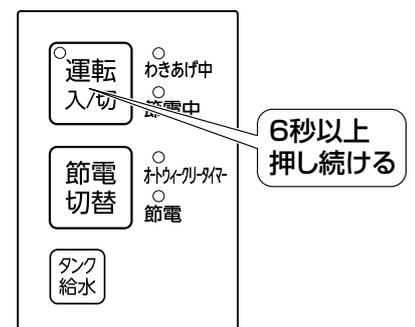
- 「運転スイッチ」が「切」の状態 **節電切替** を6秒以上押し続ける。  
リセット完了後、ブザー音が2秒間鳴ります。



## チャイルドロック

チャイルドロック設定時は **運転入/切** 以外の操作がロックされます。

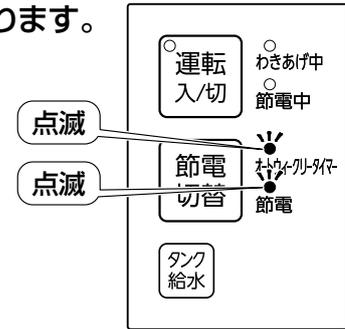
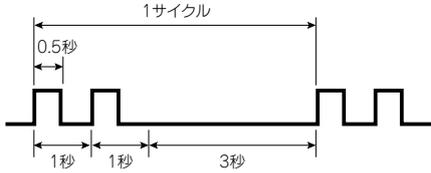
- **運転入/切** を6秒以上押し続ける。  
設定完了後、ブザー音が3回鳴ります。
- 解除する場合は **運転入/切** を6秒以上押し続ける。



## 安全装置のリセット方法

オートウィークリータイマーLEDと節電LEDが同時に2回もしくは5回点滅を繰り返し、お湯がわかきあがらない場合、空だき等の原因で安全装置が作動した可能性があります。下記の手順に従って安全装置をリセットしてください。

(参考)2回点滅は下図のようなサイクルで点滅します。



①運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。

※電源プラグを抜く前に運転スイッチを「切」にしてください。



**注意**

必ず電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。

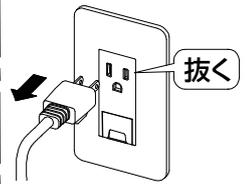
※感電の恐れがあります。



消灯

運転入/切

わきあげ中  
節電中



②タンクへ給水されているか確認する。

されていない場合、8ページ「タンクへの給水手順」に従い、給水する。

③リセットカバーをドライバーで取り外し、安全装置の中央ボタンを押す。

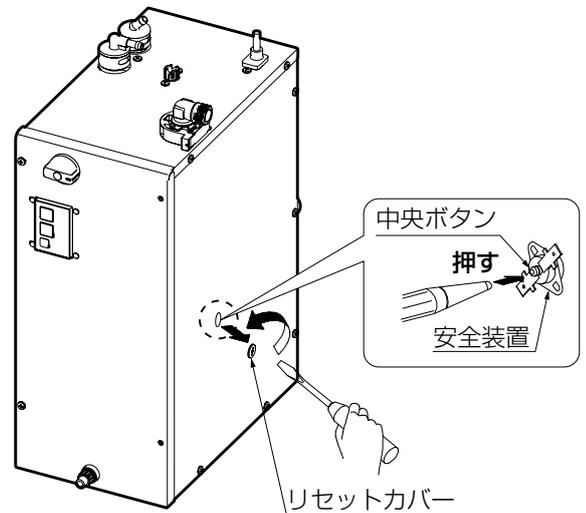
ボールペンの先などで、安全装置の中央ボタンを押します。



**注意**

手回しのドライバーを使用してください。

※電動ドライバーを使用すると破損する恐れがあります。



④取外しと逆の手順でリセットカバーを取り付ける。

**【取外し時、取付け時の注意】**

取外し時：リセットカバーを半時計方向に回すと、約1回転で外れます。

取付け時：リセットカバーを時計方向に回すと、約1回転で取り付きます。

※リセットカバーの締め込みすぎに注意してください。

⑤カバーを取り付ける。

再使用後、再び安全装置が作動した場合は、機器の使用を中止し、すみやかに販売店またはLIXIL修理受付センターに修理を依頼してください。

## ⚠ 注意

必ず運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。  
※感電の恐れがあります。



つぎのものは使用しないでください。  
・酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類  
・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類  
・クレンザー等の粒子の粗い洗剤  
※機器の変色や破損の原因になります。



### 機器回りの漏水点検(日常)

機器、各配管とその接続部分は、長期間の使用により漏水する場合があります。接続部分や機器の下面から漏水していないか日常的に点検してください。  
漏水を発見した場合は、すぐに止水栓を閉め、お買い求めの販売店、工事店またはLIXIL修理受付センターへご連絡ください。

### 機器周りの環境(日常)

機器上部にぬれたものや洗剤等が置かれていないか確認してください。置かれている場合は、ただちに取り除いてください。

### センサーのお手入れ(日常)

センサー表面の汚れは、柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどいときは、適当に薄めた中性洗剤を含ませた布でふき取ってください。  
※センサーの表面についた洗剤はよくふき取ってください。

### タンク内のお掃除(年1回程度)

長期間、タンクのお湯を使用しないとタンク内に汚れがたまる場合があります。約10分間通水しタンク内の水を入換えてください。タンク給湯水スイッチを使用すると約10分間通水後に自動で止水することが出来ます。

8ページ参照

### 排水管のお掃除(月1回程度)

清掃をしてください。  
※排水経路がつまり、漏水の恐れがあります。

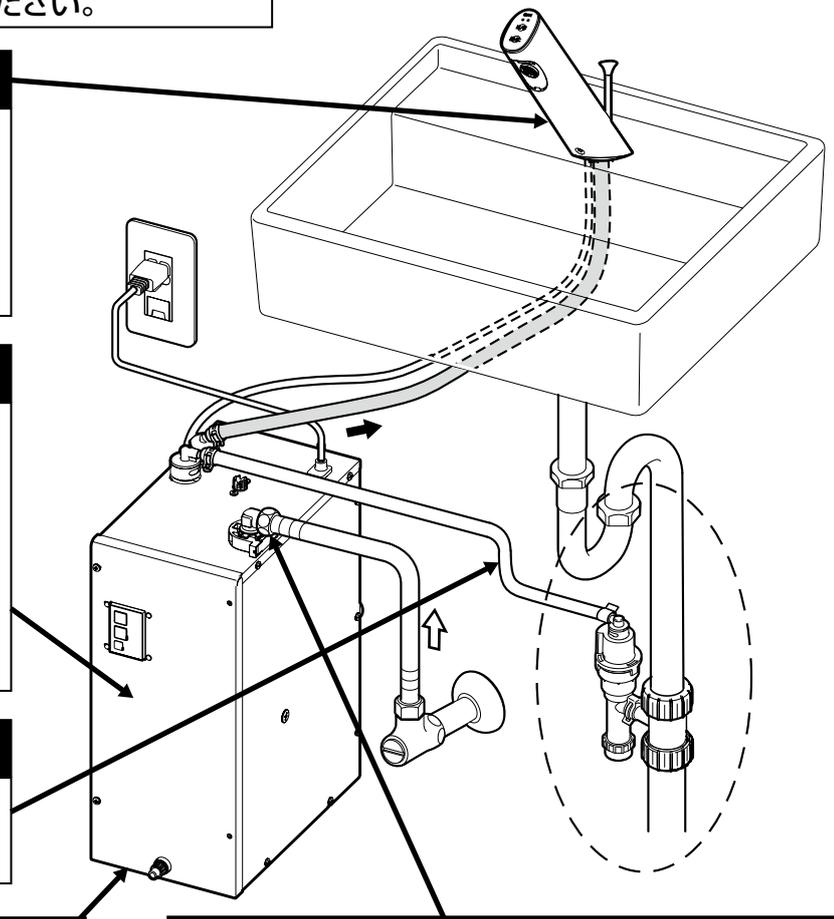
### 機器のお掃除(日常)

通常は乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、適量にうすめた中性洗剤をしみこませた布でふき取ってください。  
※給湯配管まわりをお手入れする場合は、配管を冷やしてから行ってください。ヤケドの原因になります。  
※ナイロンたわし、ステンレスたわし、ブラシ等は使用しないでください。キズつきの原因になります。

### ストレーナーのお掃除(湯量が少なくなったら)

機器の設置初期や長期間使用している間に配管内を流れてきたゴミがストレーナーに詰まって湯や水の出が悪くなる場合があります。湯や水の出が悪くなったらストレーナーの掃除を行ってください。

17ページ参照

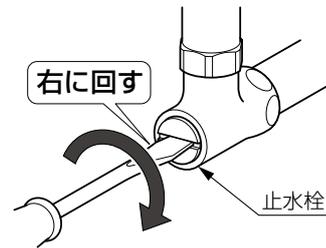


## ストレーナーおよび泡沫口のお掃除

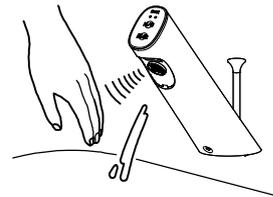
流量が少なくなった場合や吐水が乱れてきた場合は、ストレーナーや泡沫口のゴミ詰まりが考えられます。次の手順で掃除をしてください。

### 【ストレーナーのお掃除手順】

① 止水栓を閉める。



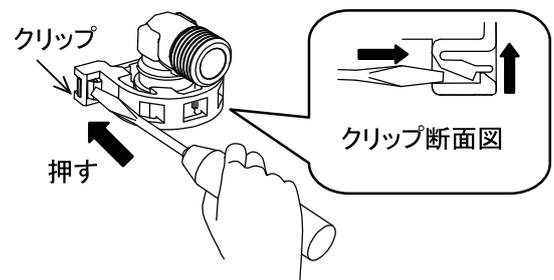
② 吐水口部に手を差し出し、センサーを感知させ水が出ないことを確認、圧抜きを行う。



③ 運転スイッチを「切」にして、電源プラグを抜く。

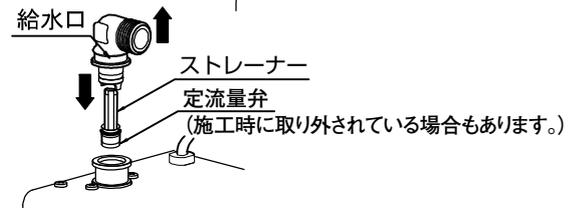


④ 給水口を接続しているクリップを取り外す。  
クリップを外す際には、マイナスドライバーを差込んだ後、右図の矢印の方向に押すようにして外します。



⑤ 給水口を外して、中のストレーナーを取り外す。

給水口を外すときに、少量の水がこぼれますので、取外し部にタオル等をあてがいながら、ストレーナーを取り外してください。



⑥ ストレーナーの網目に詰まったゴミを洗い流す。

⑦ 取り外した時と逆の手順でストレーナー、給水口、クリップを取り付ける。

クリップ取付後に、1回転させてクリップが確実に取り付いていることを確認してください。

#### 【定流量弁が取り付けられている場合】

定流量弁を紛失しないように注意してください。

#### 【定流量弁が取り付けしていない場合】

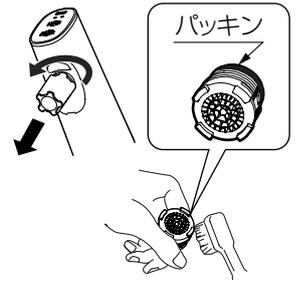
9ページ「流量の調整」にしたがって、止水栓にて流量調整を行ってください。

※掃除完了後に、8ページの「タンクへの給水手順」にしたがって通水し、水漏れのないことを確認してください。

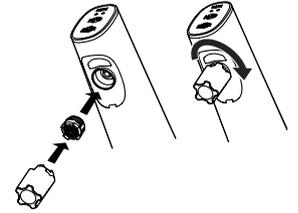
※不明な点がございましたら、LIXIL修理受付センターにご依頼ください。有料にて掃除いたします。

### 【泡沫口のお掃除手順】

- ① 17ページの「ストレーナーのお掃除手順」①、②、③と同様の作業を行う。
- ② 付属の泡沫口取外工具で泡沫口を矢印の方向にまわして取り外し、ゴミなどを洗い流す。  
※泡沫口のパッキンを傷つけないよう注意してください。



- ③ 泡沫口取外し工具で泡沫口を矢印の方向へ止まるまでまわし、取付ける。



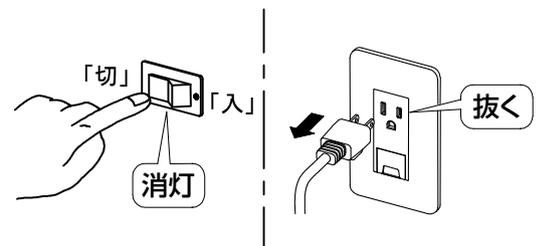
## 感知距離の再調節方法

感知距離が短いと感じたときは、センサーを掃除してください。(16ページ)  
解消されない場合は、以下の手順で感知距離を再調節してください。

### 確認

センサーと陶器の間に物を置かないでください。

- ① 運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。  
※電源プラグを抜く前に運転スイッチを「切」にしてください。



- ② 電源プラグを再度差し込む。  
10秒経過すると調節が完了します。  
この間にセンサーを感知させると正しく調節できません。



## 凍結による破損について

本製品は寒冷地仕様ではありません。

周囲温度が氷点下になるところには設置できません。周囲温度が氷点下にならないようにしてください。凍結による破損は、保証期間内でも有償修理となります。

## 長期間使用しない場合

① 運転スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

② 機器内の水を抜いてください。

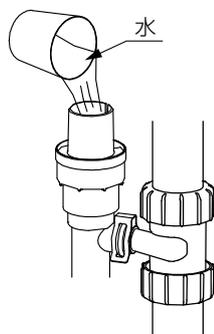
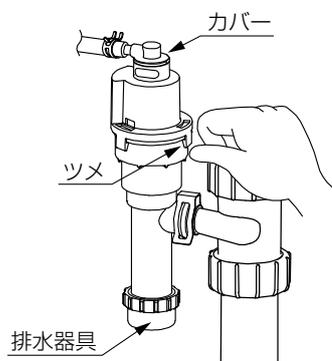
③ 定期的に、排水器具内のトラップ部に水を補給してください。(19ページ)

※ 機器の電源を切ると、排水器具内のトラップ部が封水切れを起こし、臭気が発生することがあります。

### ■排水器具のトラップ部への水の補給方法

【トラップ部への水の補給手順】

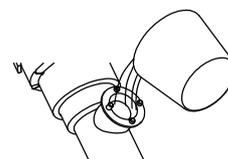
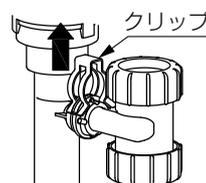
① 排水器具のカバーを取り外す。 ② コップ等でトラップ部に水を補給する。



■排水器具上部にスペースがなく、カバーを取り外せない場合

① クリップを外し、

② コップ等でトラップ部に水を補給する。



## 停電時の対応

停電時、または電源プラグをコンセントから抜いた時、学習内容の記憶は約8時間残りますが、約8時間経過すると、学習内容はリセットされます。

# 故障かなとおもったら

故障かなと思ったら、まずは下記項目をご覧になり、処置方法を試してみてください。  
確認しても故障が直らない場合は、販売店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。

## ⚠ 注意

修理技術者以外の方は、絶対に分解、改造は行わないでください。  
※火災や感電の原因になります。



### お湯が出ない、お湯にならない、お湯がぬるい

確認項目	処置方法
止水栓は開いていますか？	止水栓を開けてください。8 ページ
元電源は入っていますか？	分電盤のブレーカーを「入」にしてください。
分電盤のブレーカーが作動していませんか？	機器の使用を中止し、販売店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。
電源プラグは確実に差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
空だきして安全装置が働いていませんか？	安全装置をリセットしてください。15 ページ
運転スイッチが「切」になっていませんか？	運転スイッチを「入」にしてください。10 ページ
「節電中LED」が点灯していませんか？	節電運転中の場合は、節電機能が作動し、湯の使用頻度が低い時はわきあげ温度を下げて節電運転をしています。 オートウィークリータイマー運転を設定している場合は、オートウィークリータイマー機能が作動し、湯の使用頻度が高い時、湯を使用しない時間帯はヒーター通電をOFFしています。すぐにお湯を使いたい場合はオートウィークリータイマー機能を解除してください。13ページ
水栓のセンサー表面が汚れていませんか？	汚れをふき取ってください。16 ページ
出湯温度が低温側に設定されていませんか？	ちょう℃いいダイヤルを操作して、ご希望の温度に調節してください。10ページ

### 流量が少ない

確認項目	処置方法
止水栓が十分に開かれていますか？	止水栓を開けてください。8 ページ
断水していませんか？	断水の確認をしてください。
機器のストレーナーが詰まっていますか？	ストレーナーを掃除してください。17 ページ
水栓金具の吐水口が詰まっていますか？	水栓金具の吐水口を掃除してください。18 ページ
水圧が低くありませんか？	定流量弁を外して流量の調整をしてください。9 ページ

### 漏水している

確認項目	処置方法
電気温水器本体から漏水していますか？	直ちに止水栓を閉め、販売店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。
配管接続部から漏水していますか？	締め直すことができる部分は締め直してください。それ以外は止水栓を閉め、修理依頼をしてください。
排水管が詰まっていますか？	排水経路が詰まっていると、排水器具から漏水の恐れがあります。排水管を定期的に掃除してください。16 ページ

### お湯が汚れている

確認項目	処置方法
タンク内が汚れていませんか？	タンク内を掃除してください。16 ページ

### 吐水が止まらない

確認項目	処置方法
センサー近辺に障害物はありませんか？	センサーの感知範囲にある障害物を取り除いてください。11 ページ

### 操作部のスイッチを押しても作動しない

確認項目	処置方法
チャイルドロックが設定されていませんか？	チャイルドロックを解除してください。14 ページ

## エラー表示と処置方法

エラーが発生すると、運転を中止し、操作部のランプが点滅します。  
下記の手順に従って処置してください。



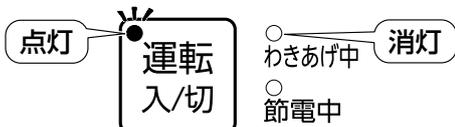
エラー内容	エラー表示	対処方法
漏水検知	1回間隔で点滅ブザーが鳴る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●漏水している恐れがあります。</li> <li>①電源プラグをコンセントから抜き、止水栓を閉じる。17ページ</li> <li>②販売店またはLIXIL修理受付センターへご相談ください。</li> </ul>
空だき	2回間隔で点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>●空だきした可能性があります。</li> <li>①運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。</li> <li>②タンクへ給水されているかを確認する。 給水されていない場合は、タンクへの給水を行う。8ページ</li> <li>③電源プラグを差し、運転スイッチを「入」にする。</li> </ul>
缶体サーミスタ異常	3回間隔で点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>●機器に異常がある恐れがあります。</li> <li>①運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。</li> <li>②販売店またはLIXIL修理受付センターへご相談ください。</li> </ul>
給水サーミスタ異常	4回間隔で点滅	
ヒーター断線異常	5回間隔で点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>●機器に異常がある恐れがあります。</li> <li>①運転スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。</li> <li>②安全装置が作動していないか確認する。 作動している場合はリセットする。</li> <li>③再度エラー表示が出た場合は、販売店またはLIXIL修理受付センターへご相談ください。</li> </ul>

# 次の場合は故障ではありません

## こんなときは

## 理由

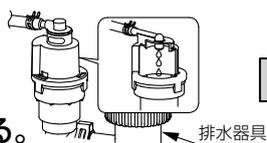
運転スイッチを「入」にしているのに  
わきあげ中LED が点灯していない。



**タンク内の水がわきあがると**、ヒーターの通電を停止するため、わきあげ中LED が消灯します。  
**タンク内の湯温が下がると**、ヒーターの通電を開始するためわきあげ中LED が点灯します。

10 ページ  
参照

運転スイッチを「入」にしたときに  
排水器具からポタポタと水が出る。



タンク内の水は温められると、膨張して体積が増えます。その膨張した水を排水器具から排出しており、異常ではありません。

熱いお湯が出ない。

安全サーモスタットを内蔵しており、出湯温度調節範囲は、約26℃～36℃です。

お湯の温度が低くなる。

タンク内のお湯がなくなったためと考えられます。お湯がなくなると、再度水のわきあげに時間がかかります。

6 ページ  
参照

再使用時にお湯の温度が一瞬低くなる  
または高くなる場合がある。

内蔵している安全サーモスタットの温度調整に若干時間がかかるからです。

出てくるお湯ににおいがする。

水道水中に含まれるにおい成分(カルキ臭)などが加熱され、においが感じられることがあります。使い始めはプラスチックのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

本体が熱くなっている。

通常機器外装部の表面温度は、約50℃まで上昇します。

機器から異音がる。

わきあがり温度に近くなると、機器内部からお湯がわいている音がする場合がありますが、異常ではありません。

わきあげ中LEDが点灯しているのに  
お湯が出ない。

わきあげ中もしくは安全装置が作動しています。安全装置作動時はリセットしてください。

15 ページ  
参照

上記処置で不明な点がございましたら、取扱店または当社お客さま相談センターへご相談ください。  
修理のご依頼が必要な場合はLIXIL 修理受付センターにご連絡ください。

TEL ☎ 0120-179-411 FAX ☎ 0120-179-456

# アフターサービスについて

## 1.修理を依頼される前に

使用していて、故障ではないかと思われたら、20、22ページの「故障かなとおもったら」、「次のような場合は故障ではありません」を参照してください。

## 2.保証書をご覧ください

- ・本製品の保証期間はお取付日から2年間です。
- ・この取扱説明書の最後のページが保証書になっています。お取付日、取扱店名などの記入をお確かめのうえ大切に保管してください。
- ・保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

## 3.修理を依頼されるとき

### <保証期間中の修理>

- ・修理に際しては、保証書をご提示ください。
- ・保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

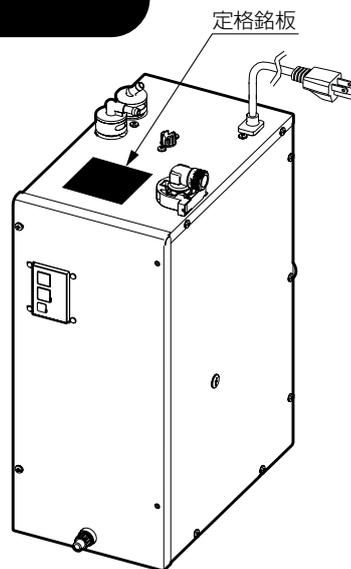
### <保証期間経過後の修理>

- ・修理すれば使用できる商品については、有料にて修理させていただきます。
- ・修理料金は「技術料」+「出張料」+「部品代」で構成されています。

### <連絡していただきたい内容>

- 1 ご住所・ご氏名・電話番号
- 2 商品名・品番・取付年月日  
(機器本体の定格銘板をご覧ください)
- 3 故障内容・異常の状況をできるだけ詳しく
- 4 訪問ご希望日・お宅までの道順

※お客さまからご連絡いただく氏名や住所等の個人情報は、商品の点検修理にのみに利用し管理いたします。なお、これらの業務に携わる協力会社へもお客さまの個人情報を開示することがありますが、弊社と同等の管理を行ないます。



## 4.部品の保有期間について

この機器の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6年です。  
この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。  
保有期間が経過した後でも、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、ご相談ください。  
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 5.修理のご依頼は

お求めの販売店やお近くの水道工事店、または

**LIXIL 修理受付センターまで**

**TEL ☎ 0120-179-411**

受付時間9:00～19:00(365日受付)

**FAX ☎ 0120-179-456**

ホームページアドレス<http://www.lixil.co.jp/support/>

# 仕様

## ●電気温水器

品番	EHMN-CA6ECSC1-300C EHMN-CA6ECSC1-300 EHMN-CA6ECSC1-320C EHMN-CA6ECSC1-320 EHMN-CA6ECSC1-320HC	EHMN-CA6ECSC2-301 EHMN-CA6ECSC2-311C EHMN-CA6ECSD2-311 EHMN-CA6ECSC2-321	EHMN-CA6ECSC3-303 EHMN-CA6ECSD3-313C EHMN-CA6ECSD3-313 EHMN-CA6ECSC3-323
外形寸法(突出部寸法含む)	幅175mm×奥行326mm×高さ430mm		
本体質量(満水時)	約6kg(約12kg)		
給水方式	元止め式		
使用水圧	0.1MPa(流動時)~0.75MPa(静止時)		
電源コード・プラグ形状	有効長さ1.5m 		
電機定格	電源電圧	AC100V(50/60Hz)	
	消費電力	700W	
タンク	容量	約6L	
	材質	特殊ステンレス鋼板	
わきあげ温度	約70℃		
出湯温度 ※2	約26~36℃(温度範囲約21~43℃)		
	水側のみ吐水機能なし		水側：給水温度※3
わきあげ時間	約33分(15→70℃)		
発熱体構造	シーズヒーター		
自動温度調節器	サーミスタ方式		
温度過昇防止器	バイメタル方式(手動復帰式)		
標準出湯量 ※1	約13L(わきあげ温度70℃)		
使用可能雰囲気温度	0~40℃(ただし凍結しないこと)		

※1：水温15℃、出湯温度36℃、使用流量4L/minの条件下で一度に使用できるお湯の量です。

※2：出湯初期に瞬間的に温度が変化する場合があります。(43℃程度)

※3：湯水切替タイプには「水」吐水時の初期も瞬間的に40℃程度の湯が出る場合があります。

## ●専用自動水栓部

品番	EHMN-CA6ECSC1-300C EHMN-CA6ECSC1-300 EHMN-CA6ECSC2-301 EHMN-CA6ECSC1-320C EHMN-CA6ECSC1-320 EHMN-CA6ECSC1-320HC EHMN-CA6ECSC2-321	EHMN-CA6ECSC2-311C EHMN-CA6ECSD2-311	EHMN-CA6ECSC3-303 EHMN-CA6ECSC3-323	EHMN-CA6ECSD3-313C EHMN-CA6ECSD3-313
電気定格	電源電圧	AC100V(50/60Hz)		
	消費電力	待機時0.2W、使用時1.4W以下		待機時0.3W、使用時1.5W以下
適正流量範囲	2~3L/分 (2.5L定流量弁内蔵)	3~5L/分 (4L定流量弁内蔵)	2~3L/分 (2.5L定流量弁内蔵)	3~5L/分 (4L定流量弁内蔵)
感知方式	距離測定式赤外線センサー			
感知距離	自動調節(感知距離自動調節機能内蔵)			
感知エリア幅	φ10mm			

## 特定電気用品の適合性検査証明

本製品は、電気用品安全法第9条の規定に基づき、特定電気用品の適合性検査証明を受けています。

MEMO

# 保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※ 品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

<b>品名：</b>		<b>(品番：</b>		<b>)</b>	
<b>保証期間</b>		<b>取付日</b>		<b>年 月 日</b>	
<b>取付日より</b>		<b>2ヶ年</b>		<b>取扱店名</b>	
<b>お客さま</b>	<b>おなまえ</b>	<b>無効</b>		<b>TEL ( ) -</b>	
	<b>おところ</b>				
	<b>おでんわ</b>				
<b>( ) -</b>		<b>TEL ( ) -</b>			

お客さまへ

- 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

## 無料修理規定 (保証規定)

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。(免責事項)
  - 用途以外(車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等)に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
  - 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
  - お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
  - 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
  - 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
  - 経年変化使用に伴う外観上の現像(塗装の色あせ、もらい錆等)または使用に伴う消耗部品の摩耗等により生じる不具合
  - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス)に起因する不具合
  - 小動物(犬、猫、ねずみ、昆虫等)の行為または蔓(つる)や根などの植物の害に起因する不具合
  - 天災地変(火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等)に起因する不具合による故障及び損傷
  - 戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
  - 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
  - 消耗品(パッキン)類、配管中の異物のつまり等による故障及び損傷
  - 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷(※水道水とは、水道事業者が供給する上水をいう)
  - 凍結による故障及び損傷
  - 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
  - ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境(異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等)に起因する故障及び損傷などの不具合
  - 指定規格以外のガス・電気・燃料等を使用したことに起因する不具合
  - 保証書の期限切れまたは提示がない場合
  - 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明の場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6ヶ年です。

商品についてのお問い合わせはお客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-197-430

受付時間 平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-197-456

受付時間 9:00~19:00 (365日受付)

# 株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/>

# 株式会社 LIXIL

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センターまで

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。

下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050

FAX 0562-40-4053

インターネット・ホームページアドレス

<http://www.lixil.co.jp/>

修理のご依頼は（本文の「アフターサービス」をお読みください）

お求めの販売店または

LIXIL 修理受付センターまで

■WEBサイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■お電話でも修理を承ります

TEL ☎ 0120-179-411

受付時間 9:00～19:00(365日受付)

FAX ☎ 0120-179-456

●当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

